

令和6年度 第1回学校評価考察

能登町立小木小学校

	重点目標	評価の観点	評価：達成度判断基準	総合	達成状況（考察と改善方針等）
1	<p>確かな学力の向上</p> <p>①学習規律の徹底と学習習慣の定着</p> <p>②主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</p> <p>③ICTの活用</p> <p>④特別支援教育の充実</p>	<p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 「算数で、理由をはっきりさせて説明していますか。」と答える児童の肯定的評価 <p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 「ノート指導などの学習規律・習慣を継続的に指導している。」と答える教職員の肯定的評価 <p><満足度指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 「意見交換の場を確保し、考えを磨きあう授業を進めている。」と答える教職員の肯定的評価 <p><努力指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 「ICTを活用した授業に取り組んでいる。」と答える教職員の肯定的評価 <p><努力指標></p> <ul style="list-style-type: none"> 「特別支援教育の観点から授業を工夫している。」と答える教職員の肯定的評価 	<p>児童アンケートで肯定的評価が</p> <p>A : 80%以上 B : 70~80%未満 C : 50~70%未満 (54.8%) D : 50%未満</p> <p>教職員アンケートで肯定的評価が</p> <p>A : 80%以上 (100%) B : 70~80%未満 C : 50~70%未満 D : 50%未満</p> <p>教職員アンケートで肯定的評価が</p> <p>A : 80%以上 (90%) B : 70~80%未満 C : 50~70%未満 D : 50%未満</p> <p>教職員アンケートで肯定的評価が</p> <p>A : 80%以上 (100%) B : 70~80%未満 C : 50~70%未満 D : 50%未満</p> <p>教職員アンケートで肯定的評価が</p> <p>A : 80%以上 (80%) B : 70~80%未満 C : 50~70%未満 D : 50%未満</p>	B	<p>○「ノート指導などの学習規律・習慣を継続的に指導している。」が 22.2%上昇した。ノート検証を通して、学力向上プランの取組状況とノートの書き方について学び合ったことを、児童に還元してきたことが伺える。</p> <p>・「算数で、理由をはっきりさせて説明していますか。」が 15.8%下がった。考え方を説明したり、ベストセットを選んだ理由を説明したりすることや、不足しているときには問い合わせて、理由を明らかにしていく手立てが必要である。また、理由をはっきりさせる方法として、ノートに書いたり、ペアで話したりと、学習活動を工夫していく必要がある。</p> <p>・「特別支援教育の観点から授業を工夫している。」が 20%下がった。個別最適で、誰一人取り残さない授業づくりを意識して、学習形態や板書、教師の話し方などを工夫していく必要がある。</p>

<p>2 豊かな心と社会性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①海洋教育を基盤とした心の育成 ②人間関係づくりと社会的ルールの定着 ③積極的生徒指導の充実 	<p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いま、学校は楽しい。」と答える児童の肯定的評価 <p>児童アンケートで肯定的評価が</p> <table border="0"> <tr> <td>A : 80 %以上</td> </tr> <tr> <td>Ⓐ: 70 ~ 80 %未満 (76.2%)</td> </tr> <tr> <td>C : 50 ~ 70 %未満</td> </tr> <tr> <td>D : 50 %未満</td> </tr> </table> <p><満足度指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校はいじめ・不登校のない楽しい学級づくりに努めている。」と答える保護者の肯定的評価 <p>保護者アンケートで肯定的評価が</p> <table border="0"> <tr> <td>Ⓐ: 80 %以上 (95%)</td> </tr> <tr> <td>B : 70 ~ 80 %未満</td> </tr> <tr> <td>C : 50 ~ 70 %未満</td> </tr> <tr> <td>D : 50 %未満</td> </tr> </table> <p><努力指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの不安や悩みを理解し、個に応じた指導を取り組んでいる。」と答える教職員の肯定的評価 <p>教職員アンケートで肯定的評価が</p> <table border="0"> <tr> <td>Ⓐ: 80 %以上 (100%)</td> </tr> <tr> <td>B : 70 ~ 80 %未満</td> </tr> <tr> <td>C : 50 ~ 70 %未満</td> </tr> <tr> <td>D : 50 %未満</td> </tr> </table>	A : 80 %以上	Ⓐ: 70 ~ 80 %未満 (76.2%)	C : 50 ~ 70 %未満	D : 50 %未満	Ⓐ: 80 %以上 (95%)	B : 70 ~ 80 %未満	C : 50 ~ 70 %未満	D : 50 %未満	Ⓐ: 80 %以上 (100%)	B : 70 ~ 80 %未満	C : 50 ~ 70 %未満	D : 50 %未満	B	<p>○満足度指標と努力指標の肯定的評価が 90%を超える高い評価となった。授業参観や保護者懇談会など、保護者との関わりが増えた成果だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いま、学校は楽しいと答える児童が 76.2%と前年度より低い結果となった。子どもに寄り添った積極的生徒指導の充実が求められる。 ・生徒指導や特別支援教育に関する校内研修を計画的に行い、全職員での共通理解を図っていく。 ・Q-U 等のアンケートで気になる児童については、個別に面談を行っていく。 ・保護者からの信頼と学校の教育活動への理解をこれからも得ていくために、こまめに児童・保護者とのコミュニケーションをとっていく。 				
A : 80 %以上																			
Ⓐ: 70 ~ 80 %未満 (76.2%)																			
C : 50 ~ 70 %未満																			
D : 50 %未満																			
Ⓐ: 80 %以上 (95%)																			
B : 70 ~ 80 %未満																			
C : 50 ~ 70 %未満																			
D : 50 %未満																			
Ⓐ: 80 %以上 (100%)																			
B : 70 ~ 80 %未満																			
C : 50 ~ 70 %未満																			
D : 50 %未満																			
<p>3 保護者・地域に信頼される学校作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安全・安心な学校 ②保護者、地域との連携 	<p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校は、子どもの事について気軽に相談できる。」と答える保護者の肯定的評価 <p>保護者アンケートの肯定的評価が</p> <table border="0"> <tr> <td>Ⓐ: 80 %以上 (97.6%)</td> </tr> <tr> <td>B : 70 ~ 80 %未満</td> </tr> <tr> <td>C : 50 ~ 70 %未満</td> </tr> <tr> <td>D : 50 %未満</td> </tr> </table> <p><満足度指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育方針や子どもの様子が学校・学級だよりやホームページ等で分かる。」と答える保護者の肯定的評価 <p>保護者アンケートの肯定的評価が</p> <table border="0"> <tr> <td>Ⓐ: 80 %以上 (95.1%)</td> </tr> <tr> <td>B : 70 ~ 80 %未満</td> </tr> <tr> <td>C : 50 ~ 70 %未満</td> </tr> <tr> <td>D : 50 %未満</td> </tr> </table> <p><努力指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学級だよりで、学級経営方針や児童の様子を保護者に知らせている。」と答える教職員の肯定的評価 <p>教職員アンケートの肯定的評価が</p> <table border="0"> <tr> <td>Ⓐ: 80 %以上 (100.0%)</td> </tr> <tr> <td>B : 70 ~ 80 %未満</td> </tr> <tr> <td>C : 50 ~ 70 %未満</td> </tr> <tr> <td>D : 50 %未満</td> </tr> </table> <p><努力指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の人材や素材を活用した授業を取り入れている。」と答える教職員の肯定的評価。 <p>教職員アンケートの肯定的評価が</p> <table border="0"> <tr> <td>Ⓐ: 80 %以上 (87.5%)</td> </tr> <tr> <td>B : 70 ~ 80 %未満</td> </tr> <tr> <td>C : 50 ~ 70 %未満</td> </tr> <tr> <td>D : 50 %未満</td> </tr> </table>	Ⓐ: 80 %以上 (97.6%)	B : 70 ~ 80 %未満	C : 50 ~ 70 %未満	D : 50 %未満	Ⓐ: 80 %以上 (95.1%)	B : 70 ~ 80 %未満	C : 50 ~ 70 %未満	D : 50 %未満	Ⓐ: 80 %以上 (100.0%)	B : 70 ~ 80 %未満	C : 50 ~ 70 %未満	D : 50 %未満	Ⓐ: 80 %以上 (87.5%)	B : 70 ~ 80 %未満	C : 50 ~ 70 %未満	D : 50 %未満	A	<p>○学校は、子どもの事について気軽に相談できると答える保護者が 97.6%と高い。子どもの様子を学級だより等でお知らせしたり、普段からこまめに連絡を取り合っていたりする成果と考える。</p> <p>○海洋教育を中心に、地域に出かけたり、地域の方々をゲストティーチャーとして招いたりして授業を行う教職員が増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人について担任や職員が丁寧に対応、説明できていると考える。気軽に相談できる学校を意識し継続して取り組んでいく。 ・学校だより、学級だよりは具体的な内容でこれからもわかりやすく作っていく。 ・ホームページの更新は、情報担当が職員へ啓発し、頻度をあげていく。
Ⓐ: 80 %以上 (97.6%)																			
B : 70 ~ 80 %未満																			
C : 50 ~ 70 %未満																			
D : 50 %未満																			
Ⓐ: 80 %以上 (95.1%)																			
B : 70 ~ 80 %未満																			
C : 50 ~ 70 %未満																			
D : 50 %未満																			
Ⓐ: 80 %以上 (100.0%)																			
B : 70 ~ 80 %未満																			
C : 50 ~ 70 %未満																			
D : 50 %未満																			
Ⓐ: 80 %以上 (87.5%)																			
B : 70 ~ 80 %未満																			
C : 50 ~ 70 %未満																			
D : 50 %未満																			

<p>4</p> <p>プロとしての自分を磨き、子どもに関わりきる教職員 ①服務規律の遵守 ②教職員の資質・授業力向上</p>	<p><成果指標> •「職員研修で学んだことを積極的に校務に生かしている。」と答える教職員の肯定的評価</p>	<p>教職員アンケートの肯定的評価 A: 80 %以上 (90.9%) B: 70 ~ 80 %未満 C: 50 ~ 70 %未満 D: 50 %未満</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○いずれの指標も肯定的評価が90%を超える高い評価となった。 ○2学期以降、安全・快適な環境づくりに努め、誰もが安心して学校に通うことができるよう学校運営をしていきたい。 ○毎週、校長からの指示伝達により、職員の服務規律を守る意識が高まっている。また、職員室に学級のことや授業のこと相談しやすい雰囲気があるため、校内外の研修で学んだことを共有したり、実際の教育活動に生かしたりしやすい雰囲気がある。これを2学期以降も継続できるようにしていきたい。
<p>5</p> <p>多忙化改善・業務の効率化 ①働き方改革の意識 ②業務の効率化の推進</p>	<p><成果指標> •「自分の業務に見通しを持ち〆切や時間を意識して取り組んでいる。」と答える教職員の肯定的評価</p>	<p>教職員アンケートの肯定的評価が A: 80 %以上 (91.7%) B: 70 ~ 80 %未満 C: 50 ~ 70 %未満 D: 50 %未満</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度の前期も、教職員の業務改善の意識が高い。 ○前期は、業務改善という視点で会議の簡素化、主任業務の見直しなど、具体的な取組を進めることができた。 ・退校時刻の確認（最終退校時刻19:00）を行い、仕事の優先順位をつけ、見通しをもって自分の業務を行えるように、引き続き業務の効率化に取り組んでいく。